

報道関係者 各位

放送批評懇談会

**発表！2019年3月度ギャラクシー賞月間賞**

放送批評懇談会が日本の放送文化の質的な向上を願い、テレビ、ラジオの番組、関係者を顕彰する「ギャラクシー賞」。ことしで56年の歴史を誇ります。

ギャラクシー賞テレビ部門では、批評活動の一環として、毎月、自主的に番組を推奨する制度「月間賞」を運営しております。今月の月間賞を別紙のとおり発表いたしますので、貴媒体でお取り扱いのほどお願い申し上げます。

ギャラクシー賞テレビ部門は、この日常視聴に基づく「月間賞」と、各社からの応募作品を併せて審査を重ね、毎年を受賞作を決定いたします。5月31日開催予定の贈賞式にて、大賞をはじめとする各賞が決定、表彰されます。

今後の選考にもご注目いただければ幸いです。

●放送批評懇談会について：1963年の発足以来、評論家、ジャーナリスト、マスコミ研究者などを会員に、各種の活動を展開しております。「GALAC（ぎやらく）」の編集・発行、優れた番組・CMを顕彰する「ギャラクシー賞」の選考・運営、メディア界の動きを解説するセミナー、シンポジウムの開催などを行なっています。

●過去の受賞作をお探しの場合は「ギャラクシー賞データベース (<http://www.houkon.jp/galaxy/database.html>)」をご活用ください（掲載内容：作品名、放送局・制作社名、制作者、出演者、受賞理由など）。

放送批評懇談会

ASSOCIATION OF BROADCAST CRITICS

◆お問い合わせ先

放送批評懇談会／担当：福島・齋藤

〒160-0022 新宿区新宿 5-10-14 中村ビル 2F

Tel : 03-5379-5521 Fax : 03-5379-5510

kondankai@houkon.jp <http://www.houkon.jp>

放送批評懇談会



2019年3月度ギャラクシー賞月間賞

ドラマ10「トクサツガガガ」

1月18日～3月1日放送 22:00～22:44 日本放送協会

“オンナなのに” “大人なのに” など、世の中の固定観念を問う深い問題提起が埋め込まれているが、実に軽やかで遊び心に溢れる上質なエンターテインメントに仕立てられた作品。出演者の個性も光り、すべてのメンバーが思い切り演じきっていることも心地よい。大人も遊ぶ時間を大切に生きていこう、というメッセージも読み取れる。

ETV特集「誰が命を救うのか 医師たちの原発事故」

3月9日放送 23:00～24:00 日本放送協会

原発事故発生直後、福島に入った医師たちの証言記録。放射能の危険が迫り避難範囲が拡大されるなか、最前線で奔走していた医師たちの苦悩、葛藤や医療現場の混乱が明らかになる。医師たちがその後の人生を大きく変えたという最後のシーンは印象的だ。過酷な体験を風化させずに、今後の被ばく医療の体制づくりに生かしてほしい。

NHKスペシャル「詐欺の子」

3月23日放送 21:00～22:30 日本放送協会

ドキュメンタリーとドラマの構成で描く「オレオレ詐欺」の実態。ドキュメンタリー部分はナレーション的に抑え、単なる再現ドラマではなく、「人」を描くドラマになっている。誰もが抱える少しの不全感。加害者・被害者とも私たちとの距離は近く、切ない。演者はみな好演、桃井かおり、長村航希は特に素晴らしく、その人物として生きていた。

スーパープレミアムドラマ「スローな武士にしてくれ」

3月23日放送 21:00～22:59 日本放送協会 オットイモ NHKエンタープライズ

昭和の活動屋たちに、8K時代の最新機材でチャンバラを撮らせるミッションに夢がある。最新テクノロジーと昭和のスゴテクの競演がダイナミックな映像を実現し、広々とした人間ドラマとなった。内野聖陽の殺陣が剣豪レベルで、ハイスピードカメラでとらえた快刀乱麻に度肝を抜かれる。時代の代わり目にふさわしい快作。